



医労連 長野地域民医労

冬期一時金3次回答

要求に遠く及ばない0.8カ月 3次4次ストを決断!!



前進回答を期待して集まった150人の組合員は、回答を聞いた瞬間、一同沈黙。しかし1人また1人発言するたびに熱気を取り戻し、団交はこの日も10時過ぎまで続きました。

団交では、増収への具体策を示せない理事会に怒りが爆発。一時金削減の影響(人材流出)も想定をしていないことも明らかになりました。

長野地域民医労の仲間は越年での闘争を決断し、翌3日朝に時限ストを決行しました。

今後は、一時金の財源として改修積立金の活用を求める方針で、執行委員の半日ストを構えています。

引き続きみなさんのご支援をお願いします。

マスコミも注目



昼のニュースで放映
ABN、SBC、TSB